

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をさがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディボーションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

ディーゴ ガイド



2025.12.8-14

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

➤ 8日 月曜

ヨシュア



15:13 ヨシュアは自分への【主】の命により、エフンネの子カレブに、ユダ族の中でキルヤテ・アルバ、すなわちヘブロンを割り当て地として与えた。アルバはアナクの父である。

15:14 カレブはそこからアナクの三人の息子、シェシャイ、アヒマン、タルマイを追い払った。これらはアナクの子である。

15:15 そして彼は、そこからデビルの住民のところに攻め上った。デビルの名は、かつてはキルヤテ・セフェルであった。

15:16 そのときカレブは言った。「キルヤテ・セフェルを討って、これを攻め取る者に、私の娘アクサを妻として与えよう。」

15:17 カレブの同族ケナズの子オテニエルがそれを攻め取ったので、カレブは娘アクサを彼に妻として与えた。

15:18 嫁ぐとき、彼女は夫に、自分の父に畑を求めるようにしきりに促した。彼女がろばから降りると、カレブは「あなたは何が欲しいのか」と彼女に言った。

15:19 アクサは言った。「私にお祝いを下さい。ネゲブの地を私に下さるのですから、湧き水を下さい。」そこでカレブは上の泉と下の泉を彼女に与えた。

カレブは老いてもまだ、主とイスラエルのために役に立つことを願い、その仕事を果たしました。十分な実績があり、もう休んでも良いと思える状態でも、主の必要であるなら信仰者は立ち上がるべきです。

そのようなカレブにはオテニエルという同労の勇者が与えられました。主のために私心なく奉仕する人には、主は助け手を与えてくださるものです。

アクサは父カレブが気前の良い人であることを

知っていたのかもしれませんが、多くを求めました。父親カレブはもっと大きな愛で、彼らに二つの泉までも与えました。乾燥した風土に住む彼らにとって、泉は非常に貴重なものです。

このように私たちも神様に対して、甘えのように何かを求めることがあるかも知れませんが、主は期待以上の愛のお方です。主の恵は私たちが考える以上のものなのです。主に頼って、主に求めましょう。浅はかな知恵は休止してみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9日 火曜

ヨシュア



15:20 ユダ部族の諸氏族の相続地は次のとおりである。
15:21 エドムの国境の方、ネゲブにあるユダ部族の最南端の町々はカブツエエル、エデル、ヤグル、
15:22 キナ、ディモナ、アデアダ、
15:23 ケデシュ、ハツオル、イテナン、
15:24 ジフ、テレム、ベアロテ、
15:25 ハツオル・ハダタ、ケリヨテ・ヘツロン、すなわちハツオル、
15:26 アマム、シエマ、モラダ、
15:27 ハツアル・ガダ、ヘシュモン、ベテ・ベレテ、
15:28 ハツアル・シュアル、ベエル・シエバ、ビズヨテヤ、
15:29 バアラ、イイム、エツェム、
15:30 エルトラデ、ケシル、ホルマ、
15:31 ツィクラグ、マデマナ、サンサナ、
15:32 レバオテ、シルヒム、アイン、リンモンである。合計二十九の町とそれらの村々。
15:33 シェフェラではエシュタオル、ツォルア、アシュナ、
15:34 ザノアハ、エン・ガニム、タプアハ、エナム、
15:35 ヤルムテ、アドラム、ソコ、アゼカ、
15:36 シャアライム、アディタイム、ゲデラ、ゲデロタイムである。十四の町とその村々。
15:37 ツェナン、ハダシャ、ミグダル・ガド、
15:38 ディルアン、ミツパ、ヨクテエル、
15:39 ラキシユ、ボツカテ、エグロン、
15:40 カボン、ラフマス、ケテリシュ、
15:41 ゲデロテ、ベテ・ダゴン、ナアマ、マケダ。十六の町とその村々。

15:42 リブナ、エテル、アシャン、
15:43 エフタ、アシュナ、ネツィブ、
15:44 ケイラ、アクジブ、マレシヤ。九つの町とその村々。
15:45 エクロンと、それに属する町々と、その村々。
15:46 エクロンから海まで、アシュドデに隣接したすべての町と、その村々。
15:47 アシュドデと、それに属する町々と、その村々。ガザと、それに属する町々と、その村々。エジプト川に至るまで、大海とその沿岸。
15:48 山地ではシャミル、ヤティル、ソコ、
15:49 ダンナ、キルヤテ・サナ、すなわちデビル、
15:50 アナブ、エシュテモア、アニム、
15:51 ゴシェン、ホロン、ギロ。十一の町とその村々。
15:52 アラブ、ドマ、エシュアン、
15:53 ヤニム、ベテ・タプアハ、アフエカ、
15:54 フムタ、キルヤテ・アルバ、すなわちヘブロン、ツィオル。九つの町とその村々。
15:55 マオン、カルメル、ジフ、ユタ、
15:56 イズレエル、ヨクデアム、ザノアハ、
15:57 カイン、ギブア、ティムナ。十の町とその村々。
15:58 ハルフル、ベテ・ツル、ゲドル、
15:59 マアラテ、ベテ・アノテ、エルテコン。六つの町とその村々。
15:60 キルヤテ・パアル、すなわちキルヤテ・エアリムと、ラバ。二つの町とその村々。
15:61 荒野ではベテ・ハ・アラバ、ミディン、セカカ、
15:62 ニブシャン、塩の町、エン・ゲディ。

六つの町とその村々。

15:63 エルサレムの住民エブス人を、ユダ族は追い払うことができなかった。エブス人はユダ族とともにエルサレムに住んだ。今日もそうである。

主の恵は、これら与えられてた町々のように現実的なものです。実際に記録できるほど明確なものなのです。信頼し期待しましょう。またユダ族はエブス人を追い払うことをしませんでした。それが後に災いとなりました。主を信頼して最後まで忠実に従い通しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 10日 水曜

ヨシュア



16:1 ヨセフ族にくじで当たった地の境界線は、エリコのあたりのヨルダン川からエリコの泉の東側へ、そして荒野の方へ向かい、エリコから上って山地のベテルに至り、
16:2 ベテルからルズに出てアルキ人の領土アタロテを過ぎ、
16:3 西の方、ヤフレテ人の領土に下り、下ベテ・ホロンの地境、さらにゲゼルに至る。その終わりは海である。
16:4 ヨセフ族、マナセとエフライムは自分たちの相続地を受け継いだ。
16:5 エフライム族の諸氏族の地域は、次のとおりである。彼らの相続地の領域は東の方、アテロテ・アダルから上ベテ・ホロンに至る。
16:6 そして境界線は西に向かい、さらに北方のミクメタテに出る。そこから境界線は東に回ってタアナテ・シロに至り、そこを過ぎてヤノアハの東に進み、
16:7 ヤノアハからアタロテとナアラに下り、エリコに達し、ヨルダン川に出る。
16:8 また境界線はタブアハから西へ、カナ川に向かう。その終わりは海である。これがエフライム部族の諸氏族の相続地である。
16:9 そして、マナセ族の相続地の中に、エフライム族のために取り分けられた町々、そのすべての町とそれらの村々がある。
16:10 ただし、彼らは、ゲゼルに住むカナン人を追い払わなかった。カナン人はエフライムのただ中に住んだ。今日もそうである。カナン人は強制労働に服することになった。

ヨセフはヤコブの11番目の息子でしたが、約束の子すなわちラケルの子としては長子でした。またかつては兄たちから殺されそうになったり、奴隷に

売られたりと大きな苦勞をしましたが、エジプトで大臣となり、最後は兄たちを赦し主の御計画との信仰を持ちました。それゆえ神様はヨセフの子孫に長子としての権利を与え、2倍のものを与えたのです。すなわちその相続を、ヨセフから出たエフライム族とマナセ族にそれぞれ与えたのでした。

兄弟姉妹の中で損もあれば得もあるでしょうし、その人の生い立ちや人生に苦難も喜びもあるでしょうが、主は必ず私たちが納得するような結果を与えてくださる方です。今の状況を、後の希望を見つ、まずは肯定的に受け入れてみましょう。

さて、ヨハネから出たマナセ族とエフライム族でしたが、彼らはカナン人を追い払いませんでした。彼らを苦役に服させることを益と考えたのです。しかしそれが後に偶像礼拝のもととなってしまいました。

打算を働かせても、主の御命令を第一にしなければ、後にやっかいな問題を抱え込むことになります。心しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11日 木曜

ヨシュア



17:1 マナセ部族の地は次のとおりにくじで割り当てられた。マナセはヨセフの長子であった。マナセの長子で、ギルアデの父であるマキルは戦士であったので、ギルアデとバシャンが彼のものとなった。

17:2 残りのマナセ族の諸氏族、すなわち、アビエゼル族、ヘレク族、アスリエル族、シェケム族、ヘフェル族、シェミダ族にも割り当てられた。これはヨセフの子マナセの、男の子孫の諸氏族である。

17:3 マナセの子マキルの子ギルアデの子ヘフェルの子ツエロフハデには、息子がなく娘だけであった。娘たちの名はマフラ、ノア、ホグラ、ミルカ、ティルツァであった。

17:4 彼女たちは、祭司エルアザルとヌンの子ヨシュアと族長たちの前に進み出て言った。

「【主】は、私たちにも自分たちの親類の間に相続地を与えるよう、モーセに命じられました。」ヨシュアは【主】の命により、彼女たちにも、彼女たちの父の兄弟たちの間に相続地を与えた。

17:5 マナセには、ヨルダンの川向こうのギルアデとバシャンの地のほかに、十の割り当て地があてがわれた。

17:6 マナセの女の子孫が、男の子孫の間に相続地を受け継いだからである。ギルアデの地はマナセのほかの子孫のものとなった。

17:7 マナセの境界線はアシェルからシェケムに面したミクメタテである。その境界線は南へ、エン・タブアハの住民のところに行く。

17:8 タブアハの地はマナセに属していたが、マナセの境界のタブアハはエフライム族に属していた。

17:9 そして境界線はカナ川を下る。川の南側にある町々は、マナセの町々の間にはあるが、エフライムに属している。マナセの地域は川の北側にある。その終わりは海である。

17:10 その南はエフライムのもの、北はマナセのものである。また海がその境界である。マナセは北でアシェルに達し、東でイッサカルに達する。

17:11 イッサカルとアシェルの中にある、ベテ・シェアンとそれに属する村々、イブレアムとそれに属する村々、ドルの住民とそれに属する村々、エン・ドルの住民とそれに属する村々、タアナクの住民とそれに属する村々、メギドの住民とそれに属する村々はマナセに属している。その三番目は高地である。

17:12 しかしマナセ族は、これらの町々を占領することができなかった。カナン人はこの地に継続して住んだ。

17:13 イスラエル人が強くなったときにはカナン人を苦役につかせたが、彼らを追い払うことはなかった。

イスラエルが約束の地を勝ち取った後、仲たがいせずに平和裏に住むことができたのは、彼らがその相続地で主の導きに従ったからです。このマナセ族の女たちは相続地を要求したのですが、それは「主は…命じられました。」と、主の約束に即したことだったので。

私たちも主の約束、主の御心と信じるなら大胆に意見を言いましょう。その際には自分の考えではなく、主のおことばとして聖書に従いましょう。

またマナセ族もカナン人を都合のために苦役を貸して取り込みました。後の災いとなったことと思い、私たちは主に最後まで従いましょう。自分で

判断してしまい、主の御心をいい加減にしないように、気をつけましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 12日 金曜

ヨシュア



17:14 ヨセフ族はヨシュアに告げた。「あなたはなぜ、私にただ一つのくじによる相続地、ただ一つの割り当て地しか分けてくださらないのですか。これほど数の多い民になるまで、【主】が私を祝福してくださったのに。」

17:15 ヨシュアは彼らに言った。「あなたが数の多い民であるのなら、森に上って行きなさい。そこでペリジ人やレファイム人の地を切り開くがよい。エフライムの山地はあなたには狭すぎるのだから。」

17:16 ヨセフ族は言った。「山地は私たちに十分ではありません。しかし、平地に住んでいるカナン人はみな、ベテ・シェアンとそれに属する村々にいる者も、イズレエルの平野にいる者も、鉄の戦車を持っています。」

17:17 ヨシュアはヨセフの家、すなわち、エフライムとマナセに言った。「あなたは数の多い民で大きな力がある。あなたには、くじによる割り当て地が一つだけではいけない。

17:18 山地もあなたのものとしなければならない。それが森だとしても切り開いて、その隅々まであなたのものとしなさい。カナン人が鉄の戦車を持っていたとしても、強くても、あなたは彼らを追い払わなければならない。」

主のみこころによって領地の取り分が決められましたが、ヨセフ族は不平を言いました。これは信仰の行為とは言えません。私たちは不平を言い、要求をする前に、主の御心は何かを求めなければなりません。

ここで分かることは、主から恵みとして与えられるとしても、それだけに頼って何も努力しないままではいけないということです。主は私たちに働くことや勝ち取ることを願っておられるのです。そのた

めには主は力を与えてくださいます。

ヨシュアは彼らに対して、押さえつけるのではなく、その力を認め将来を提示しました。そのように主のみこころは、肯定的な将来像によって成し遂げられていきます。主から祝福の未来を見せさせていただきます。そして努力して勝ち取りましょう。主の力を信じて。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 13日 土曜

ヨシュア



18:1 イスラエルの子らの全会衆はシロに集まり、そこに会見の天幕を建てた。この地は彼らに服していたが、

18:2 イスラエルの子らの中に、相続地を割り当てられていない七部族が残っていた。

18:3 ヨシュアはイスラエルの子らに言った。「あなたがたの父祖の神、【主】があなたがたに与えられた地を占領しに行くのを、あなたがたはいつまで延ばしているのか。

18:4 部族ごとに三人の者を出しなさい。私は彼らを送り出そう。彼らが立ち上がってその地を行き巡り、自分たちの相続地にしがってその地について書き記し、私のところに戻って来るためである。

18:5 彼ら自身でそれを七つの割り当て地に分割しなさい。ユダは南にある自分の地域にとどまり、ヨセフの家は北にある自分の地域にとどまる。

18:6 あなたがたはその地の七つの割り当て地を書き記し、私のところに持って来なさい。私はここで、私たちの神、【主】の前で、あなたがたのためにくじを引こう。

18:7 しかし、レビ人はあなたがたの間に割り当て地を持たない。【主】の祭司として仕えることが彼らへのゆずりだからである。ガドとルベンと、マナセの半部族は、ヨルダンの川向こう、東の方で自分たちの相続地を受けている。【主】のしもべモーセが彼らに与えたものである。」

18:8 その人たちは立って出て行った。その際ヨシュアは、その地について書き記すために出て行く者たちに命じた。「さあ、あなたがたはその地を行き巡り、その地について書き

記し、私のところに帰って来なさい。ここシロで、【主】の前で、私はあなたがたのためにくじを引こう。」

18:9 その人たちは行って、その地を巡り、それぞれの町を七つの割り当て地に分けて書物に書き記し、シロの宿営にいるヨシュアのもとに来た。

18:10 ヨシュアはシロで、すなわち【主】の前で、彼らのためにくじを引いた。ヨシュアはそこで、彼らへの割り当てにしたがって、その地をイスラエルの子らに分割した。

主によって与えると約束された土地でも、戦って勝ち取らなくては、自分たちのものにはなりません。信仰による祝福も同じです。信仰とは信じて行動することです。

伝道も、主の働きも、将来への道を開くことも、主のみこころであることが、第一ですが、それを知った後には何もしないで待っているのではなく、前進することです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



14日 日曜

ヨシュア



18:11 ベニヤミン部族の諸氏族のくじが引かれた。くじで当たった彼らの地域はユダ族とヨセフ族の間にあった。

18:12 北側の境界線はヨルダン川から始まる。その境界線はエリコの北の傾斜地に上り、西の方へ山地を上る。その終わりはベテ・アベンの荒野である。

18:13 さらに境界線はそこからルズに向かい、ルズの南の傾斜地を過ぎる。ルズはベテルである。それから境界線は、下ベテ・ホロンの南にある山の近くのアテロテ・アダルを下る。

18:14 さらに境界線は折れ、西側を、ベテ・ホロンの南向かいの山から南へ回る。その終わりはユダ族の町キルヤテ・バアル、すなわちキルヤテ・エアリムである。これが西側である。

18:15 南側はキルヤテ・エアリムの外れを起点とする。その境界線は西に出て、メ・ネフトアハの泉に出る。

18:16 さらに境界線は、レファイムの谷間にあるベン・ヒノムの谷を北から見下ろす山の外れへ下り、ヒノムの谷をエブスの南の傾斜地に下り、エン・ロゲルを下り、

18:17 北の方に折れ、エン・シェメシュに出て、アドミムの坂の反対側にあるゲリロテに出て、ルベンの子ボハンの石に下り、

18:18 アラバに面する傾斜地を北へ進み、アラバに下る。

18:19 そして境界線はベテ・ホグラの傾斜地を北へ進む。境界線の終わりは塩の海の北の入江、ヨルダン川の南端である。これが南の境界である。

18:20 ヨルダン川が東側の境界線である。こ

れがベニヤミン族の諸氏族の相続地であり、その周囲の境界線である。

18:21 ベニヤミン部族の諸氏族の町々はエリコ、ベテ・ホグラ、エメク・ケツィツ、

18:22 ベテ・ハ・アラバ、ツェマライム、ベテル、

18:23 アビム、パラ、オフラ、

18:24 ケファル・ハ・アンモニ、オフニ、ゲバ。十二の町とその村々。

18:25 ギブオン、ラマ、ベエロテ、

18:26 ミツパ、ケフィラ、モツア、

18:27 レケム、イルペエル、タルアラ、

18:28 ツェラ、エレフ、エブスすなわちエルサレム、ギブア、キルヤテ。十四の町とその村々。これがベニヤミン族の諸氏族の相続地である。

ベニヤミン族の土地は決して良いとは言えません。しかしそこはユダ族とヨセフ族という強く争い易い両者の、緩衝となるような役割だったのです。また山の多い土地は、信仰のためには役立ところとなりました。主には深いお考えがあるのです。その上で最善を与えてくださいます。

自分の取り分の少なさを嘆くのではなく、主からの使命に気づき、感謝しつつ意欲を持って働きを全うしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

